

平成 28 年 6 月 3 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ケ ア 2 1
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 依 田 平
 (JASDAQ・コード：2373)
 問 合 せ 先 取 締 役 経 理 部 長 遠 藤 昭 夫
 (TEL.06-6456-5697)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 6 月 3 日開催の臨時取締役会において、以下のとおり、平成 27 年 12 月 11 日に公表いたしました平成 28 年 10 月期（平成 27 年 11 月 1 日～平成 28 年 10 月 31 日）第 2 四半期累計期間の業績予想を修正することを決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 10 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正

(平成 27 年 11 月 1 日～平成 28 年 4 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 11,200	百万円 120	百万円 40	百万円 20	円 銭 8.61
今回修正予想 (B)	10,870	20	△30	△50	△21.53
増 減 額 (B-A)	△330	△100	△70	△70	
増 減 率 (%)	△2.9	△83.3	—	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 10 月期第 2 四半期)	9,954	272	200	103	44.32

2. 修正の理由

施設系事業におきましては、当第 2 四半期累計期間に予定どおり 11 施設を開設いたしました。中でも特定有料施設におきましては、同累計期間に開設が集中することは事前に計画しておりましたが、利用可能な居室数が一挙に増加したこともあり、稼働率の改善が予想以上に遅れましたため、投資額を十分回収できず、営業利益で予想を下回る見込みとなりました。また、在宅系事業におきましては、ご利用者は順調に増えたものの、昨年 4 月に実施された介護報酬の引き下げや要介護度の区分変更などに起因する利益率の低下なども、営業利益を押し下げる要因となりました。

これらの状況を踏まえ、第 3 四半期以降につきましては、施設の満床、デイサービスの稼働率向上、訪問介護のご利用者サービス提供時間増加などの対策として、医療機関や地域の社会資源への働きかけを積極的に行うなど、更なる営業の強化を行ってまいります。併せてコスト削減を確実に実行していくことで、第 2 四半期累計期間の不足額を回収できると見込んでおり、平成 27 年 12 月 11 日に公表いたしました通期業績予想に変更はございません。

※上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があります。

以 上